

春さがしウォーキング

六所〜白滝道〜白井〜沼田の約6キロ
大地の躍動の時を迎えた山里で春を探すウォーキングが3月14日(日)に行われました。参加者21名ほどのような春に会えたのでしょうか。東京から遠来の参加者もあり嬉しい限り。



筑波山口から実証実験中のデマンドバスを利用する初の試み。六所入口まで5分、直通貸切状態で気分良好。筑波山を知り尽くしている筑波子両氏が本日のネイチャーガイド。

訪れる度にきれいに整えられている六



土手で野草摘み



外でみんなで昼食です

所神社、宮山からの眺望も開け、田畑から靄が立上る様子が見える。各人ビニール袋を持ってガイドの説明を受けながら野草を摘む。日当たりの良い「筑波ふれあいの里」の雑木林では、ヨモギ、スイバ、アザミ、ニワトコ等新芽が顔を出している。皆時間を忘れて春菜摘み。



タチツボスミレ

おいしい天ぷらでできるかな



キブシ

カントウタンポポ

る、揚げる。今日初めて出会った人達なのに息の合った作業、瞬間に六品の出来上がり。スイバとタネツケバナのサラダまで付く。みな美味しい！自然が育んだ豊かな深い味わい。春陽の下で最高に贅沢な気分のひと時だ。

キブシ、クロモジには黄緑色の花が咲き、白滝の森は新たな成長を開始する気配に満ちている。満開の椿花咲く道を下ると蔵王神社の静かな佇まい、星ふる里蔵・稲葉酒造場で春探しは終了。湧水の池にはシヨウブの芽が見える。

江戸時代の神郡の文人、飯田修和に春の白滝で遊んだ漢詩がある。古人も今日の豊かな豊かな一日を過ごしたのではないかと想いを馳せる。



稲葉酒造場に到着

六所の滝にすてきな名前を！

六所大神宮跡の後方にある「宮山」と、その東の「お宝山」の間を流れる「椿作沢」。この清流は、白滝から続きお宝山の巨石群を流れ、六所大神宮跡の裏で美しい滝となります。滝の傍らの大きな石の上には古くから「水神様」が祀られてきました。滝の周りは、長い間竹が生い茂り、倒木が散乱し、ひとびとの目に触れることはあまりありませんでした。

昨年六所大神宮跡一帯をきれいにしようと、六所万葉の里保存会と近隣の有志、それに六所皇大神宮霊地保存会の方々が浄財を出し合い、森林ボランティア「ふれあいの筑波」の協力を得て、整備を進めてきました。その結果、六所の滝が見えるようになり、多くのひとの注目を集めるようになりました。しかしまだ正式な名前がないことから、混乱も生じ始めています。そこで、みなさんに親しんでもらうと同時に、地域を代表する滝として広めていくために、滝の名前を公募することになりました。応募規定は左記の通りです。どしどし応募ください。

応募の仕方 六所児童館に専用の応募用紙と投票箱があります。締切は4月末日。
名前の決定 六所万葉の里保存会を中心とする選考委員会(井坂敦實委員長)により5月下旬に決定します。発表は、「すそみろく」第16号紙面にて。命名者には別途連絡、お礼の品を差し上げます。

インフォメーション

- カフェ・ソレイユ営業&滝原逸郎写真展
5月1日(土)〜5日(水・祝) 10時〜16時
- 紫の会 草木染展
5月2日(日)・3日(月・祝) 10時〜16時
- 田井ミュージアム(つくば市神郡54) / 筑波山麓の樹木や草で染色した布を使った着物・洋服・暖簾・小物などの作品展です。紫の会は、毎月1回筑波ふれあいの里で染色教室を行っています。 / 入場無料 / 「問」 NPO法人自然生クラブ 029-8666-2192
- 生きものと共存する棚田の米づくり
田植え 5月15日(土) 10時〜15時 / 沢水だけで無農薬の米づくり。美しい筑波山を眺めながら一緒に！参加費900円
場所：つくば市神郡(申込者に地図送ります) / 作業デーは5月8日(土)・22日(土)・29日(土)、6月5日(土)・12日(土)・19日(土)・27日(日)、7月10日(土)、8月1日(土)他 / 作業内容は、苗の補植、草取り、溝きり、イノシシ柵設置など
「問」 NPO法人つくば環境フォーラム 029-8663-1511
- 田楽の集い 田植え
5月16日(日) 10時〜15時 / 大雨中止 / 山の神の谷津田(つくば市神郡2336)
参加費大人1000円、学生・障害のある方500円(昼食あり) / 筑波山麓の谷津田で紙マルチによる無農薬の米作り。黒米や赤米などを手植えします。あぜで田楽舞いもあります / 「問」 NPO法人自然生クラブ 029-8666-2192

筑波山麓春さがしウォーキングは、つくばスタイル協議会「つくばスタイルPR連携事業」の一環として実施しました。

つくばスタイルとは、都市インフラや商業・文化施設などの“充実した都市機能”、筑波山や田園風景に象徴される“豊かな自然”、そして科学技術の集積など“つくばならではの知的な環境”をともに享受しながら、自分の希望に合わせて住み、学び、遊ぶ、つくばエクスプレス沿線ならではのライフスタイルです。

「つくばスタイル協議会」は、茨城県、都市機構、つくば市、つくばみらい市、守谷市が、つくばエクスプレス沿線で享受できる快適なライフスタイル<つくばスタイル>をブランド化させ、更に大きなムーブメントへと発展させていくために設立した組織です。

●詳しくは [つくばスタイル](http://www.tsukuba-style.jp/) 検索 <http://www.tsukuba-style.jp/>

さあ春を満喫し、自然と共に活動の季節に突入しよう。

同行の野末たく二氏の俳句
里宮のいまは昔やすみれ草
瀧一条春の光を吐き出せり
摘草やみんな野生の顔もちて

石井博子(神郡地区)

絵：武井菜々夏(田井小学校6年)